

ふと目が覚めると、あたり一面に広がる緑の草原。青い空、青い海。光り輝く太陽。鳥のさえずり。花をつむぎながら私は、小鳥にさそわれ森の中へ。そこには、どこかで出会った事があるような、ウサギのような笑顔の女の子。

夢中夢の

うーん、誰だっけ。思い出せない。すると彼女は「ユミちゃんいらっしやい」と私の方に近づいてくる。誰、誰、誰？。あたしよ、ケイコ。「ケイちゃん？」「小さい頃、一緒に遊んだあのケイちゃん？」。

不思議な事にあれから20年も経つのに、彼女はあの時のまま、何も変わっていない。どうして、どうして、と思いながら家の中へ。驚いたことにそこには宝石でできた人形がいっぱい。「どれにする。欲しいもの持ってっていいよ」と彼女は言う。

「わあーすごい」。夢中で私は人形を抱きかかえ、これで私も大金持ち。貧乏とはさよならさ。「ケイちゃんありがとう」。夢じゃないよね、と夢の中でつぶやいていた。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:々※〒!"#\$%&=>?@/#~